

# 夢じゃーなる



地域夢会議（グループ討議）



避難行動訓練 EVAG 研修



第1回エコツアー



「兵庫 2030 年の展望」意見交換会

ご自由にお持ち帰り下さい。

## CONTENTS

- 地域夢会議を開催しました ..... 1~2
- グループの活動報告 ..... 3~5
- 「兵庫 2030 年の展望」意見交換会 ..... 5
- 専門委員コラム、県からのお知らせ ..... 6
- ビジョン委員会とは、ほか ..... 7



地域夢会議（全体会）

# 阪神北地域夢会議を開催しました!!

**テーマ** 「住みたい街はどんな街?～2030年に住みたい、住んでいたい街を語ろう!～」

**開催日** 平成31年2月11日(月・祝)

**場所** スワンホール(伊丹市)

平成31年2月11日(月・祝)に、“平成最後の”地域夢会議を開催しました!朝方に雪が降るなどとても寒い日でしたが、多くの方にご参加いただきました。

今年度は、兵庫県であらたに「兵庫2030年の展望」が策定されたことを踏まえ、「住みたい街はどんな街?～2030年に住みたい、住んでいたい街を語ろう!～」をテーマに開催しました。



	行動目標	サブテーマ
1	多様で個性的なライフスタイルを育むことができる社会をつくる	地域づくり / 多文化共生 / ワークライフバランス
2	自律と協働による温かいコミュニティをつくる	子育て / 防災・減災 / 高齢者
3	自然と豊かに調和した安全・快適な都市環境を創造する	自然との共存
4	豊かさにとぎわいを創出する新たな阪神経済を展開する	起業 / 地域の魅力発信



今回は、関西学院大学法学部森本ゼミ所属の大学生にファシリテーター(進行役)をお願いし、三田市の「高校生ワークショップ」に参加されている高校生や働き世代、退職されて地域で活動されている方など、10代から80代まで幅広い年代層の方にご参加いただきました。

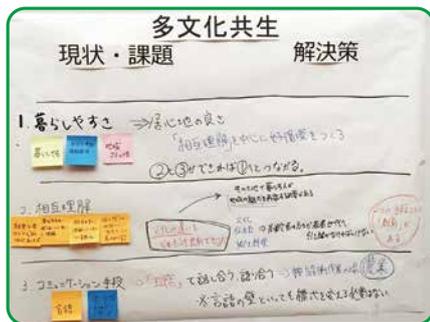
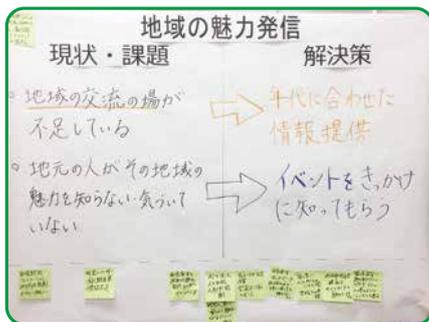
前半は、「住みたい街はどんな街?」をテーマに、地域づくりや子育てなどの9つのサブテーマを設定し、10グループに分かれて討議を行いました。

75分間という短い時間にもかかわらず、これから地域を担う方々や今まさに地域で活躍されている方々が、2030年を見据え、サブテーマごとに浮き上がる様々な課題について、積極的な議論を交わしました。



後半の全体会では、「自治会役員の方が苦勞されている」という問題や、「地域住民が地元の魅力に気づいていない」といった、人や地域とのつながりが希薄化しているという課題など、各グループの討議結果の発表が行われました。

そして全体会最後には、学識関係者であるビジョン委員会専門委員からの講評が行われ、「技術が日進月歩で進んでおり、ボタン一つで人がつながるということはある。しかし、フェイスtoフェイスな“つながり”がないと、『住みたい』とか『住んでいたい』街にはならないのではないか。どのように“つながり”を持って、住みたいと思うかが必要ではないか。」といった講評により締めくくられました。



## 参加者の声を聞きました！



Q

この阪神北地域夢会議に参加しようと思った理由は何ですか？

A

- ・他の人の意見を知り、様々な面で成長できると思った。(20代・男性)
- ・いろいろな話を聞きたい！(10代・男性)
- ・内容に興味があったから。(40代・女性)

Q

感想を教えてください。

A

- ・思っていた以上に皆さん主体的で楽しかったです。(20代・男性)
- ・他地域の方々と話ができて良かった。若い人の参加がもっと広がれば。(60代・男性)
- ・異なる世代の方と意見交換ができて良かったです。(30代・女性)
- ・皆さんが活発に意見を出し合っていたので時間が足りなかったです！(20代・女性)

ご協力くださったみなさま、ありがとうございました！！

詳細な会議録は、阪神北県民局のHPをご覧ください！

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/hnk01/20180809vision.html>



# グループの活動報告

## 阪北ファーム

### 活動内容

阪北ファームでは、冬場の仕事として、春の野菜の植え付けに合わせて、農協の指導による除草作業を行い、完全無農薬・無化学肥料による作付けができるように準備中です。その間使用可能な堆肥を検討します。

野菜の評価については、京野菜の販売担当者に食味を依頼し、来たるべき量産化に対応できるように進めております。

阪北ファームの新しい方向として「食育と健康」も一つのテーマですが、若い世代の“がん”に関して、本年**1月19日(土)**川西アステにて、からすま和田クリニック院長で京都大学医学部名誉教授の和田洋巳さんに講演を依頼し、グループのメンバーをはじめ、多くの方にご参加いただき、また開催してほしいとの声をいただきました。北摂地区の女性の「肺がん・乳がん」の死亡率が非常に高く、この点からも若い世代への取り組みが大いに必要と思われれます。

年内に第2回目の開催を予定しておりますので、多くの方にご参加をお待ちしております！

**健康セミナーのご案内**

HYOGO 150th Anniversary

日時 平成31年1月19日(土) 17:00~18:30  
 場所 アスタ川西アステホール (阪西川西駅徒歩 南へ徒歩5分)  
 主催 第10回阪北地区ビジョン事務局定例会アーム  
 後援 兵庫商団北摂支部

**次回にご期待ください!!**

内容 がんにならないことからの暮らし

参加 参加費 1,000円  
 参加者 ・がんから命を守りたい一般市民  
 ・学生、医療関係者 (AYA世代)

和田洋巳先生プロフィール  
 生年月日：1943 (昭和18年) 年11月5日 (75歳)  
 1970年 (昭和45年) 京都大学医学部卒業 京都大学客員教授  
 学長職院で、9000人を指導するがん患者さんの治療を続けるなか  
 で、「何故、がんは再発するの?」との疑問から、従来の「自分で薬  
 が患者に力をつけていく」という従来の「がん治療」を理念にがん治療の転換  
 が必要だと考え、がん治療の転換を推進する。また、医師・研究者及び企業等の学術交流を  
 促し、がん治療の転換を推進し、患者・患者の命を救うことに注力。  
 ※ がんにならないことからの暮らし

※ 前回のイベントのチラシです



## 知っ得防災

### 活動内容

私たちのグループは、「防災」に関する知見をグループ員で共有し、その知見を社会に提供するという行動理念に基づき活動しています。



### これまでの活動

- 平成30年11月10日(土)  
避難行動訓練 EVAG 研修
- 平成30年11月18日(日)  
市民防災講演会 (関西大学 奥村准教授、  
神戸地方気象台 部田観測予報管理官)
- 平成30年12月6日(木)  
体験学習 (兵庫県広域防災センター、実大三次元  
振動破壊実験施設 (E-ディフェンス))
- 平成31年1月11日(金)  
神戸女学院大学とのコラボの可能性の打ち合わせ

**今後の活動予定**

- 6月まで  
3回にわたり実施した防災アンケートの分析と公表
- 6月8日(土)  
防災講演会 (学識経験者) (宝塚市)
- 8月1日(木)  
子供向け避難行動訓練 EVAG 研修 (宝塚市)

## はんきた☆魅力発信

### 活動内容

阪神北地域の魅力ってなに？自然、歴史、まち、ひと。私たちは、このまちの魅力を再発掘し、発信します。

動画配信サイトを利用したWeb上での魅力発信モデルやリアルに地域に根付く魅力発信活動を企画しています。

私たちと一緒に地域の魅力を発信しませんか？

ますます大好き  
「はんきた」

訪ねてみたい、  
住んでみたい「はんきた」



### これまでの活動

10月27日(土) 地域見本市 ブース出店

J R川西池田駅前花壇の間引き花苗を譲り受け皆様にプレゼント・活動内容を地域の皆様に紹介

12月1日(土) J R川西池田駅 電飾点灯式参加

12月11日(火) 阪急宝塚駅前

阪急宝塚駅前を明るくする活動が可能か市役所と事前協議

1月28日(月) 「クリエイターへの依頼の仕方:入門編」セミナー開催。プロジェクト実施にプロの力を借りるときのプロポーザル(※)についての基本的な手法、抑えるべきポイントを勉強

(※) プロポーザル：複数の者に企画を提案してもらい、その中から優れた企画を提案した者を選定すること

### 今後の活動予定

動画配信サイトを利用した「はんきた」の魅力発信コンテンツを広く募集  
最優秀作品を公開予定  
ご期待ください！！

## NSC倶楽部

### 活動内容

第4回会議 (2018年10月13日(土))

第1回エコツアー (猪名川町) 体験プログラムの検討等

第5回会議 (2018年11月6日(火))

北摂里山博物館運営協議会大嶋事務局長のアドバイス等

第6回会議 (2018年12月24日(月・祝))

第1回実施結果の報告と討議、第2回実施方向性の検討等

第7回会議 (2019年1月19日(土))

第2回エコツアー (伊丹市) 実施方針の検討等

第8回会議 (2019年2月24日(日))

第3回エコツアー (宝塚市) 実施方針の検討等



第1回エコツアー  
国史跡多田銀銅山を巡る



第2回エコツアー  
冬の昆陽池のカモを見る

### これまでの活動

第1回エコツアー (2018年11月23日(金・祝))

20名参加

往時の多田銀銅山にタイムスリップしてみませんか！

第2回エコツアー (2019年2月24日(日))

20名参加

冬の昆陽池のカモを見に行こう！！

### 今後の活動予定

第3回エコツアー (2019年4月6日(土))

武庫川渓谷廃線跡(宝塚市)の自然観察と「桜の園」で満開の桜の鑑賞！

第4回エコツアー (2019年10月初旬)

県立有馬富士公園(三田市)で自然体験や生き物などの観察！

# はんきた楽習塾

## 活動内容

「はんきた楽習塾」では、来年度に本格開催予定の学習塾のテーマを決めるため、プレイベントを2つ開催しました。当初は、グループとしてのイベント開催経験も支援団体もないため、人が集まるか心配されましたが、どちらも結果的に多くの人が集まり、参加者の方からも好評でした。

今後は、ビジョン委員会活動グループ共通の課題でもありますが、イベント時の集客力の強化について検討する必要があると思われます。



## これまでの活動

平成30年11月28日(水)

『認知症に良い家庭料理を楽しむ学習塾』  
(場所：伊丹中央公民館)

平成30年12月2日(日)

『婚活パーティ』  
(場所：FATA倶楽部 (阪急逆瀬川野上))

## 今後の活動予定

今年度開催した2つのプレイベントの状況を踏まえ、「楽習塾」としては多世代が集まる仕掛け作りにトライしたい!!



# 「兵庫 2030 年の展望」実現に向けた意見交換会を開催しました!

平成30年12月24日(月・祝)に、金澤副知事に出席いただき、ビジョン委員との意見交換会を開催しました。

冒頭、金澤副知事から「兵庫2030年の展望」を説明いただいた後、ビジョン委員から、子育て安心社会を実現するため、「子育て世代の女性がキーとなる施策を進めてほしい」といった意見が出されました。副知事からは、「若い女性に選ばれる仕事、生活環境が大切になる。子育て世代の女性の意見が入ってきにくいので、これからの若い人がどういうことに期待しているのか、ぜひ教えてほしい。」と



といったお話があるなど、展望がめざす「すこやかな兵庫」の実現に向けて、積極的な意見交換が行われました。



「兵庫2030年の展望」については、以下のページをご覧ください。

2030年の展望



<http://web.pref.hyogo.lg.jp/kk07/hyogo2030.html>

# 専門委員のコラム

36号から阪神北地域ビジョン委員会の専門委員の先生にコラムを執筆いただくことになりました！  
第2回目は人と自然の博物館研究員の**大平和弘先生**です！



こんにちは、専門委員の大平です。ビジョン委員の皆さまにおかれましては、今年度の成果の総括と次年度の活動に向けてご活躍されていることと思います。私の専門は造園学ですが、博物館の活動として、**地域の古い資料や文化資源などを手掛かりにしたまちづくりの支援**に携わる機会があります。ひとたび地域に入ると、**自然に寄り添った住まい方**に学ぶべきことばかりです。今回は、地域ビジョンの行動目標2で取り組まれている**防災**にも関連して、**妖怪伝承**について考えたいと思います。

兵庫県佐用町において妖怪伝承の調査を行う機会があり、かつてカッパが出没したとされる場所を訪れました。川幅が狭く流れが複雑な深い淵になっていたため、川遊びなどによる水難事故を防止するために、怖いカッパの伝承を子どもたちに語り継いだのだと推測されましたが、伝承の本質はそれだけではありませんでした。地元へのヒアリングによると、この地域は幾度か水害に見舞われており、2009年に甚大な被害をもたらした佐用町水害では、この淵が大水の越流地点となったことが確認されたそうです。つまり、**妖怪伝承は、地域の災害時のウィークポイントを示している**場合がある、ということが判明しました。

このような妖怪伝承と自然災害との関係は珍しくなく、実はこの阪神北地域においても、宝塚市伊子志の武庫川の河原では、大水の際に上流に棲む大蛇が現れて人を飲み込んだ伝承があり（宝塚市教育委員会、2014）、三田市旧高平村では、カッパが堤防に穴を開ける伝承が残されています（兵庫県民俗研究会、1933）。

現在、防災に関わる「言い伝え」MAP（総務省、2017）の整備や、津波伝承まちづくりガイドライン（岩手県復興局、2012）など、地域の伝承を継承して防災・減災につなげる取り組みが少しずつ増えてきました。**大規模な自然災害が頻発する今こそ、妖怪伝承の封印を紐解き、地域の防災やまちづくり計画に活かす**ことが求められているのかもしれません。

## 県からのお知らせ

### フェニックス共済 兵庫県住宅再建共済制度

兵庫県が創設した「フェニックス共済」は、加入者＝共済負担金の支払者が、自然災害で住宅や家財の被害を受けた場合、その補修や再建を支援する給付金が定額で支給される安全・安心の制度です。

発生が予想される南海トラフ地震や、近年多発する風水害への備えとしてご加入ください。

区分	加入対象者	負担金	被害想定	給付金
①住宅再建共済制度	県内の住宅所有者（戸建て、分譲マンション、賃貸住宅等）	年額5,000円	全壊、大規模半壊、半壊	最高600万円
		+年額500円	一部損壊	最高25万円
②家財再建共済制度	県内在住者（住宅所有者、賃貸住宅居住者）	年額1,500円	全壊、大規模半壊、半壊、床上浸水	最高50万円

※①②セットで加入の場合は、年額特約なし6,000円、特約あり6,500円（500円割引）

※負担金の複数年一括払い（3年、5年、10年）を選ぶと割安になります。

※被害認定は、市町が発行する「防災証明書」によります

詳細は…

阪神北 フェニックス

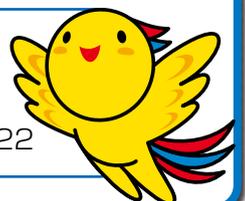


《問い合わせ先》

阪神北県民局

フェニックス共済担当

TEL：0797-83-3122



# ビジョン委員会とは？

「ビジョン」は、県民、事業者、団体、NPO、行政などの多様な主体が、目標として共有できる望ましい社会の姿を示すものです。

阪神北地域では、市民自ら、あるいは市民と行政が協働して取り組むための行動指針として、「阪神市民文化社会ビジョン」を策定しています。

この「ビジョン」を多くの方に知ってもらうとともに、ビジョンを実現させるため「ビジョン委員会」が活動をしています。



## 阪神市民文化社会ビジョンの実現

基本理念：市民主体の幅広い社会経済活動が展開する阪神市民文化社会の創造

市民  
自らの  
取組

市民と  
行政の  
協働の  
取組

ビジョン  
委員会  
の取組

<第9期の行動目標別グループ>

- ①はんきた学習塾
- ②知っ得防災
- ③阪北ファーム  
NSC倶楽部
- ④はんきた☆魅力発信

## 【阪神市民文化社会ビジョンの実現に向けた行動目標】

- ①多様で個性的なライフスタイルを育むことができる社会をつくる
- ②自律と協働による温かいコミュニティをつくる
- ③自然と豊かに調和した安全・快適な都市環境を創造する
- ④豊かさにとぎわいを創出する新たな阪神経済を展開する



## facebook やってます！

阪神北地域ビジョン委員会の情報を随時発信中！  
イベント情報や会議の様子など…ぜひご覧ください！

阪神北地域ビジョン委員会 フェイスブック

スマートフォンからはこちら→



## ホームページ 更新中！

兵庫県ホームページにて  
ビジョン委員会の活動がご覧になれます！  
ホーム > 県政情報・統計（県政情報） > 県民局・県民  
センター情報 > 阪神北県民局 > **阪神北地域  
ビジョン委員会**  
ビジョン委員会活動 から！

## 編集後記

本号では「兵庫2030年の展望」に関連した記事を多く企画しました。時代の変化がすさまじい中、約10年後の姿をどう展望するのか、この難題を検討する地域夢会議に多くの方が参加してくださいました。参加者お一人お一人の思いを伝えることは難しいですが、少しでも理解して頂けるよう、討議で出た課題や参加者の声などをお伝えできてよかったです。

また、ビジョン委員会は豊かな地域社会を築いていくべく、市民主体の幅広い取組の一翼を担う活動団体ですが、本号でその活動の一端をご紹介することができ、ほっとしています。

これからも、この「夢じゃーなる」を通して、ビジョン委員会の活動にご理解とご協力を頂ければ幸いです。(F)

2019年3月発行

発行：

## 阪神北地域ビジョン委員会

HP [https://web.pref.hyogo.lg.jp/hnk01/hankita\\_vision.html](https://web.pref.hyogo.lg.jp/hnk01/hankita_vision.html)

(連絡先)

〒665-8567 宝塚市旭町 2-4-15  
阪神北県民局 総務企画室 総務防災課  
TEL 0797-83-3119 FAX 0797-83-4379

<広報部員>

部 会 長：沢野 明美  
副部長：織田 貴子、佐竹 璃保、橋本 史江、藤井 雅雄